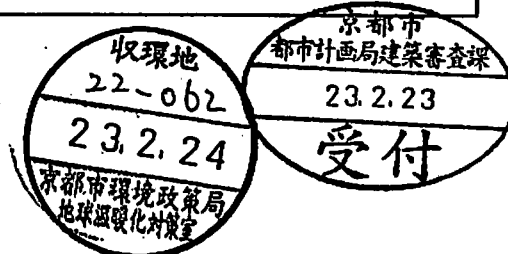


第1号様式(条例第21条関係)

特定建築物排出量削減計画書

(あて先) 京 都 市 長	平成 23 年 2 月
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市左京区吉田本町36番地の1	氏名(法人にあっては、名称及び代表者 記名押印又は署名) 国立大学法人 京都大学 学長 松本 紘 電話 075-753-2334

京都市地球温暖化対策条例第21条の規定により届け出ます。			
特定建築物の名称	京都大学桂団地 総合研究棟Ⅲ		
特定建築物の所在地	京都市西京区京都大学桂		
特 定 建 築 物 の 概 要			
設計者の氏名	国立大学法人 京都大学 施設環境部 施設整備課 課長 小西 正男		
設計者の住所	京都市左京区吉田本町36番地の1		
工事種別	☒ 新築 ☐ 増築		
予定年月日	工事着工予定年月日 2002年 11 月 1 日 (総合研究棟Ⅲ 2011年3月15日) 工事完了予定年月日 2012年 9 月 30 日		
構 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	階 数	地 上 3 階 地 下 3 階
敷 地 面 積	57,941.70平方メートル	高 さ	14.90メートル
建 築 面 積	9,476.35平方メートル	床 面 積	28,445.60平方メートル (平方メートル)
用途別床面積	住 宅		
	ホ テ ル 等		
	病 院 等		
	物品販売業を営む店舗等		
	事 務 所 等		
	学 校 等	28,445.60㎡ 15,855.37㎡	
	飲 食 店 等		
	集 会 所 等		
	工 場 等	12,590.23㎡	
温 室 効 果 ガ ス 排 出 量 の 削 減 を 図 る た め の 措 置			
☒ 外壁、屋根、床の断熱	(概 要) 屋根：押出法ポリスチレンフォーム t 35を使用		
☒ 窓の断熱又は日射遮蔽	(概 要) 地上階居室窓に庇を設置		
☐ 自然エネルギーの直接利用	(概 要)		



☐ 自然エネルギーの変換利用	(概 要)	
☒ エコマテリアルの利用	(概 要) 高炉スラグの再生材を原料とする岩綿吸音板の使用 副生せっこう、廃せっこう、再生紙を原料とする石膏ボードの使用	
☒ 緑化	(概 要) 敷地内緑地率=25%を計画	
☒ 雨水利用	(概 要) 建物床下の貯留槽に貯め、外構緑地の灌水に利用	
☒ オゾン層保護	(概 要) 断熱材に押出法ポリスチレンフォームを使用 (オゾン破壊係数=0、地球温暖化係数=11)	
☐ 長寿命化	(概 要)	
☐ その他	(概 要)	
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		
別添のとおり		
連 絡 先	担 当 部 署	京都大学 施設環境部 施設整備課
	担 当 者 氏 名	課長 小西 正男
	住 所	京都市左京区吉田本町36番地の1
	電 話 番 号	075-753-2334
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可

注1 該当する□に、レ印を記入してください。

- 床面積の欄の括弧内は、増築の場合に、当該増築部分の床面積を記入してください。
- 用途別床面積の用途（住宅を除く。）とは、建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準（平成11年3月30日通商産業省、建設省告示第1号）別表第1に掲げるものとします。
- 概要を記入した場合は、それらを図面等で明示した資料を添付してください。
- エコマテリアルとは、人体への安全性や資源の枯渇に配慮した材料、リサイクルが容易な材料等環境負荷の少ない材料をいいます。